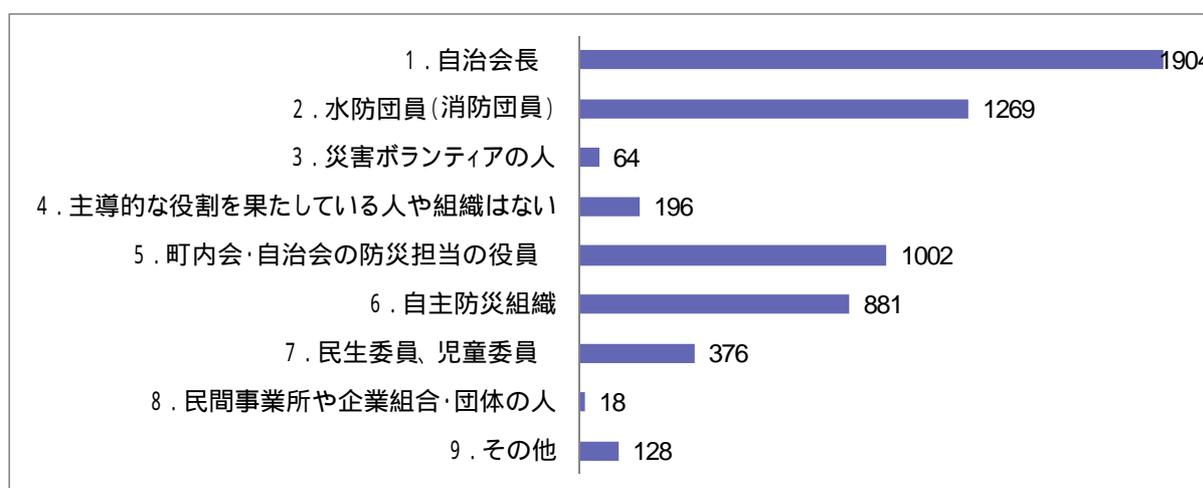


水害に対する地域防災力診断について

問 27 あなたの自治会の防災活動では、どのような人または組織が主導的な役割を果たしていますか。
あてはまる人や組織をすべて をしてください。

防災活動において主導的な役割を果たしているのは、「自治会長」、「水防団員（消防団員）」との回答が多い。

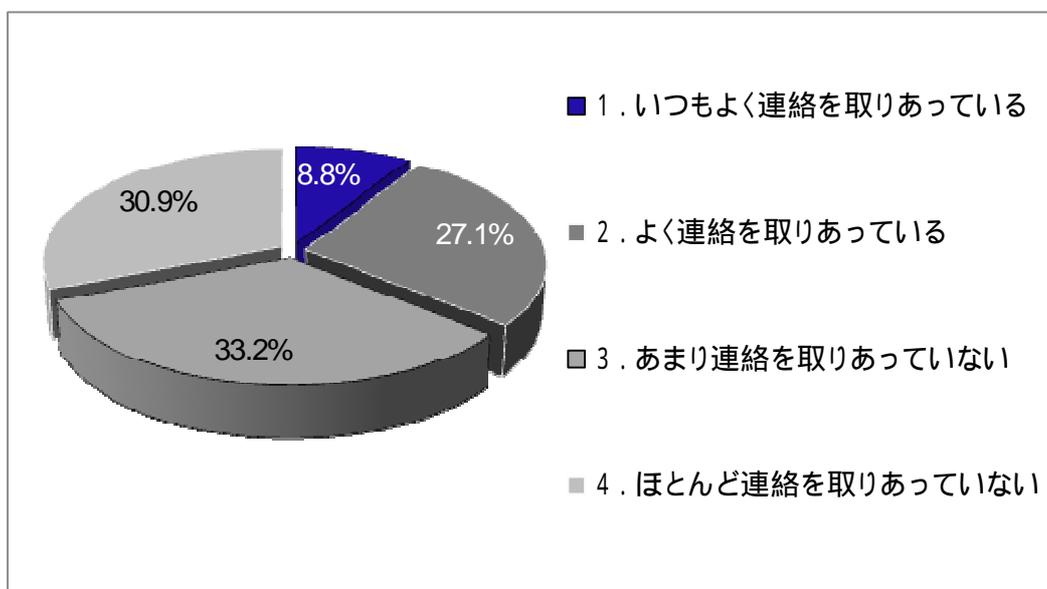
項 目	人数
1.自治会長	1904
2.水防団員(消防団員)	1269
3.災害ボランティアの人	64
4.主導的な役割を果たしている人や組織はない	196
5.町内会・自治会の防災担当の役員	1002
6.自主防災組織	881
7.民生委員、児童委員	376
8.民間事業所や企業組合・団体の人	18
9.その他	128
回答なし	55



問28 あなたの自治会は、防災面で何か困ったことがあったときなど、消防署や消防団・水防団と、いつも連絡を取りあっていますか。ひとつ をしてください。

計 35.9%の自治会が消防署・消防団・水防団と「よく連絡を取りあっている」と回答しているが、「ほとんど連絡を取りあっていない」と回答した自治会も30.9%にのぼる。

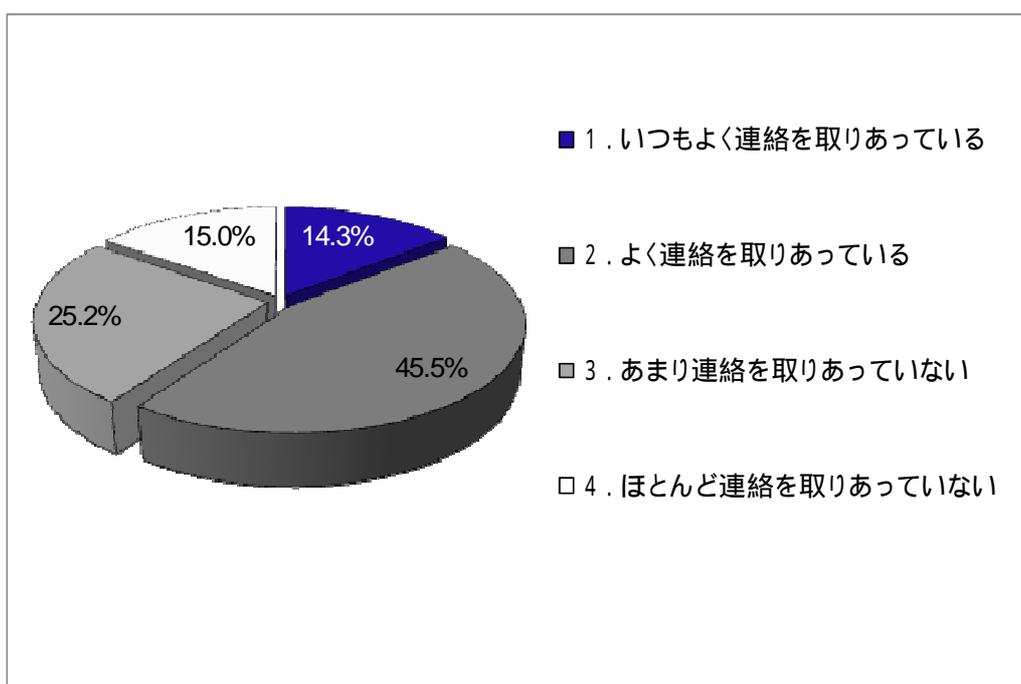
項 目	人数	割合
1.いつもよく連絡を取りあっている	210	8.8%
2.よく連絡を取りあっている	645	27.1%
3.あまり連絡を取りあっていない	790	33.2%
4.ほとんど連絡を取りあっていない	736	30.9%
回答なし	81	
回答数	2381	



問 29 あなたの自治会は、防災面にかかわらず、何か困ったことがあったときなど、市役所や町役場とふだんから連絡を取りあっていますか。ひとつ をしてください。

計 59.8%の自治会が市役所や町役場とよく連絡を取り合っていると回答している。

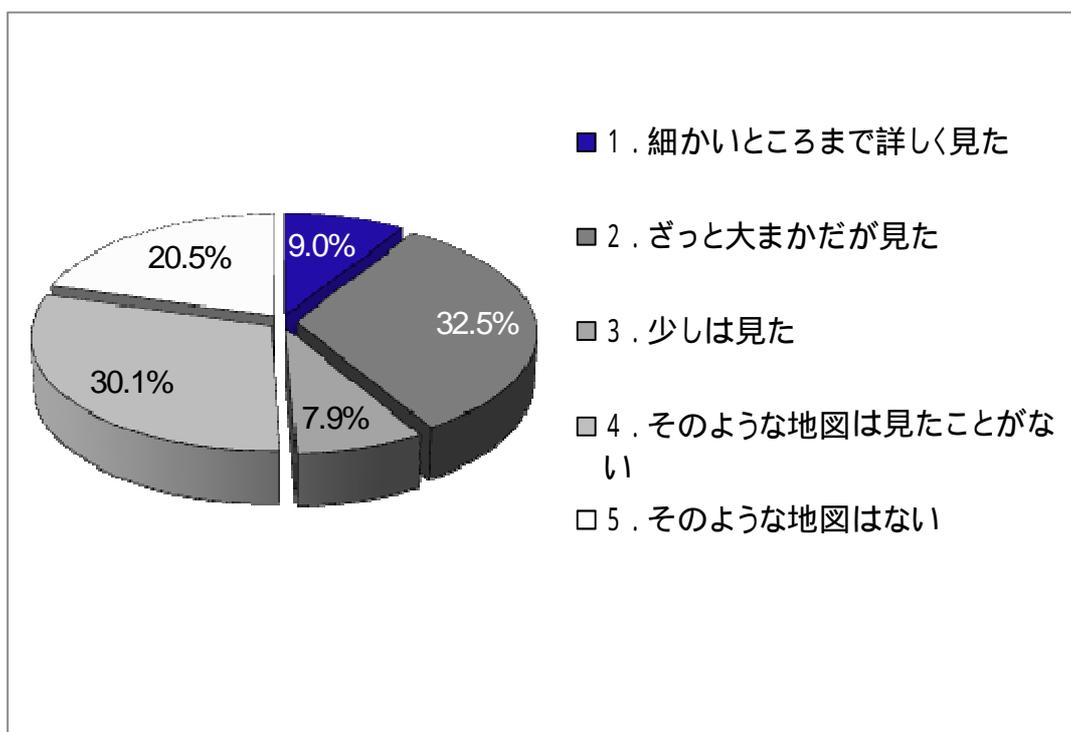
項 目	人数	割合
1. いつもよく連絡を取りあっている	344	14.3%
2. よく連絡を取りあっている	1098	45.5%
3. あまり連絡を取りあっていない	608	25.2%
4. ほとんど連絡を取りあっていない	363	15.0%
回答なし	52	
回答数	2413	



問 30 あなたの自治会における河川の堤防決壊などの洪水による浸水発生の可能性がわかる「(河川)洪水ハザードマップ」「(災害)ハザードマップ」「浸水実績図」などの名称の場合もあります)を、ご覧になりましたか。ひとつ をしてください。

50.6%の自治会で洪水ハザードマップ等を「見たことがない」もしくは「ない」と回答している。

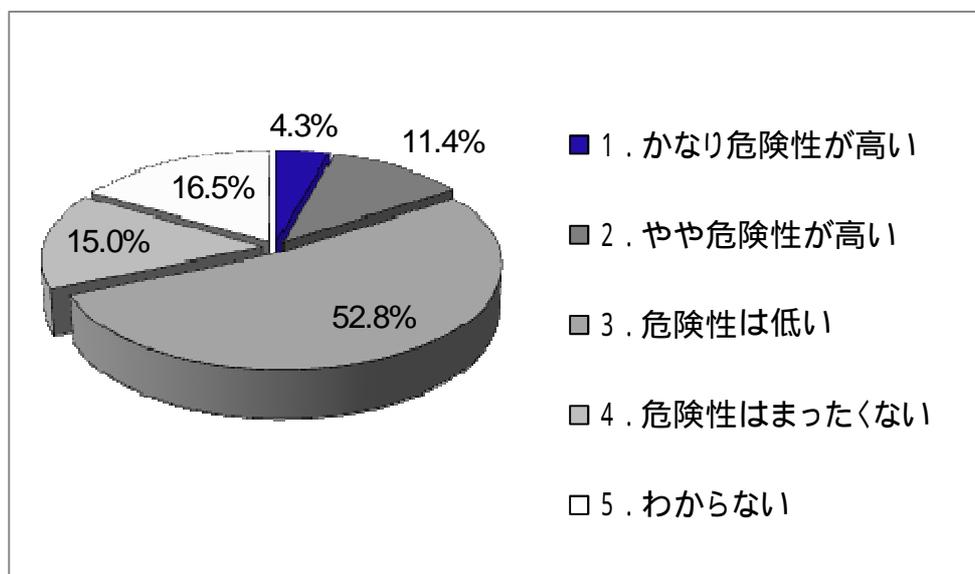
項 目	人数	割合
1.細かいところまで詳しく見た	212	9.0%
2.ざっと大まかだが見た	769	32.5%
3.少しは見た	188	7.9%
4.そのような地図は見たことがない	711	30.1%
5.そのような地図はない	486	20.5%
回答なし	99	
回答数	2366	



問 31 今後10年のうちに、あなたの自治会内で、床上浸水のような大きな浸水被害が発生する危険性はどの程度あると思いますか。ひとつ をしてください。

床上浸水のような大きな浸水被害が発生する危険性について、「低い」考えている自治会が最も多く52.8%にのぼる。次いで「まったくない」が15.0%である。

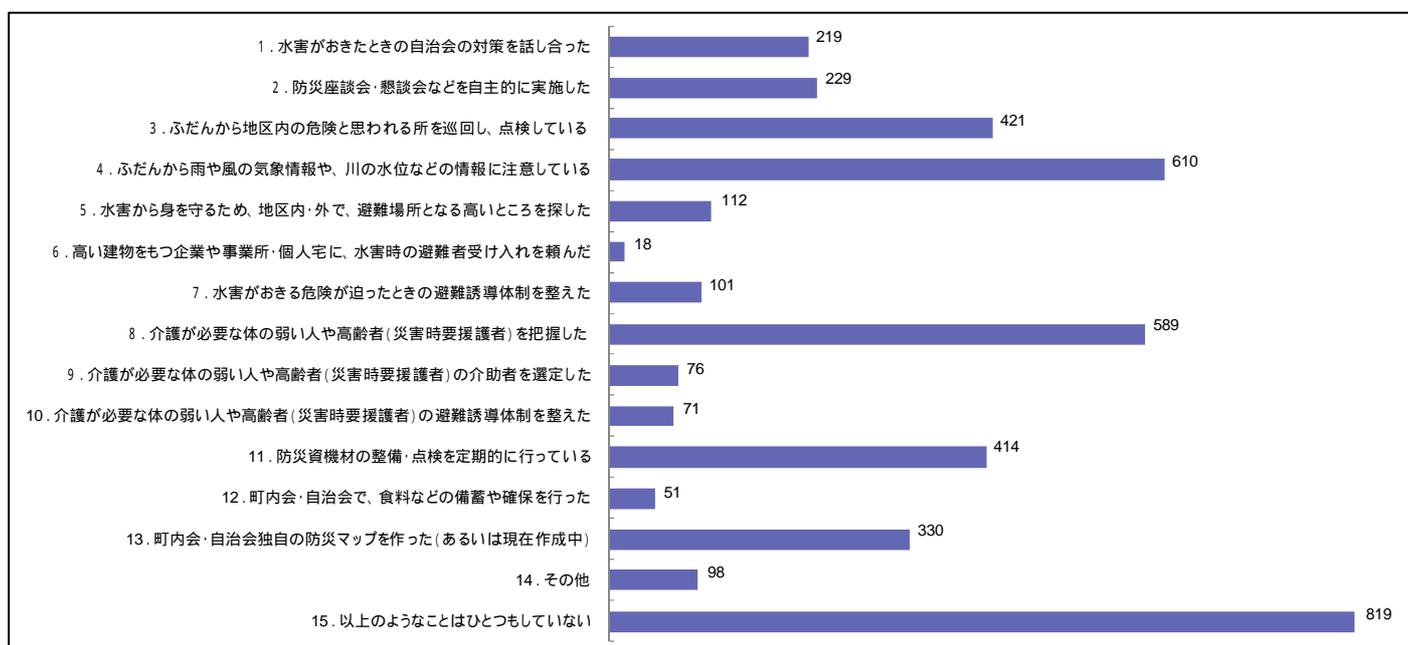
項 目	人数	割合
1. かなり危険性が高い	105	4.3%
2. やや危険性が高い	277	11.4%
3. 危険性は低い	1281	52.8%
4. 危険性はまったくない	364	15.0%
5. わからない	400	16.5%
回答なし	38	
回答数	2427	



問 32 あなたの自治会では、この2～3年間に、次にあげるような水害についての対策を自主的に実施していますか。自主的に実施したものをいくつでも選んで、 をしてください。

水害についての対策を「ひとつもしていない」自治会が最も多い(33.2%)。対策を実施している自治会では、「ふだんから雨や風の気象情報や、川の水位などの情報に注意している(24.7%)」、「介護が必要な体の弱い人や高齢者(災害時要援護者)を把握した」(23.9%)が多い。

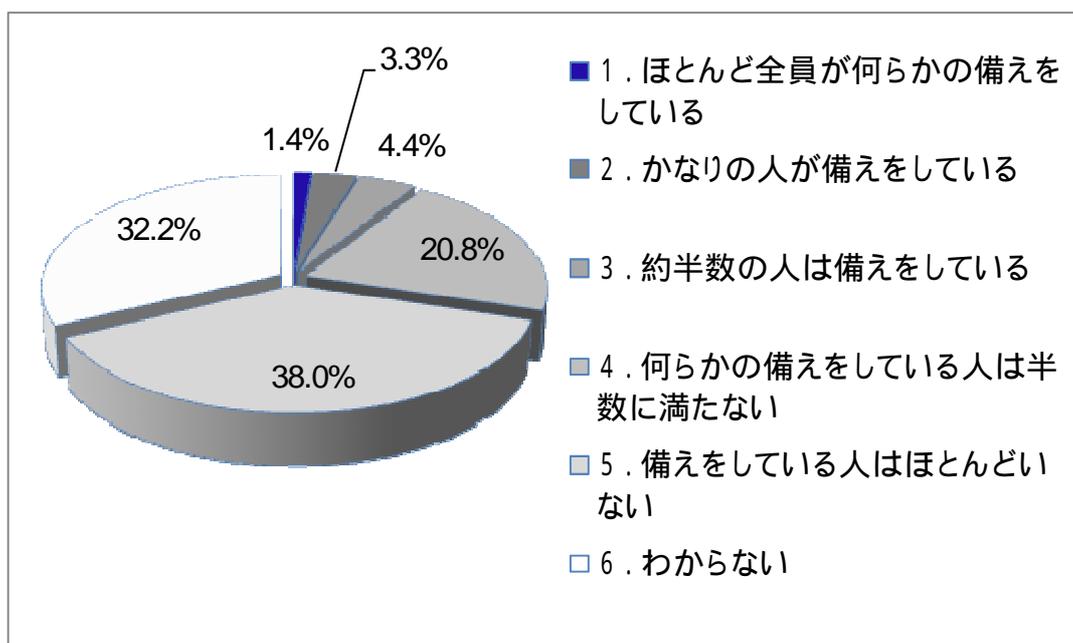
項 目	人数
1. 水害がおきたときの自治会の対策を話し合った	219
2. 防災座談会・懇談会などを自主的に実施した	229
3. ふだんから地区内の危険と思われる所を巡回し、点検している	421
4. ふだんから雨や風の気象情報や、川の水位などの情報に注意している	610
5. 水害から身を守るため、地区内・外で、避難場所となる高いところを探した	112
6. 高い建物をもつ企業や事業所・個人宅に、水害時の避難者受け入れを頼んだ	18
7. 水害がおきる危険が迫ったときの避難誘導體制を整えた	101
8. 介護が必要な体の弱い人や高齢者(災害時要援護者)を把握した	589
9. 介護が必要な体の弱い人や高齢者(災害時要援護者)の介助者を選定した	76
10. 介護が必要な体の弱い人や高齢者(災害時要援護者)の避難誘導體制を整えた	71
11. 防災資機材の整備・点検を定期的に行っている	414
12. 町内会・自治会で、食料などの備蓄や確保を行った	51
13. 町内会・自治会独自の防災マップを作った(あるいは現在作成中)	330
14. その他	98
15. 以上のようなことはひとつもしていない	819
回答なし	99



問 33 あなたの自治会の住民のなかで、水害から自分たちの生命や財産を守るために何らかの対策を実施している人は、どのくらいいると思いますか。ひとつ をしてください。

「備えをしている人はほとんどいない」と考えている自治会長が 38.0%で最も多い。水害について自ら対策を実施している人が半数以上いると考えている自治会は、全体の 9.1%である。

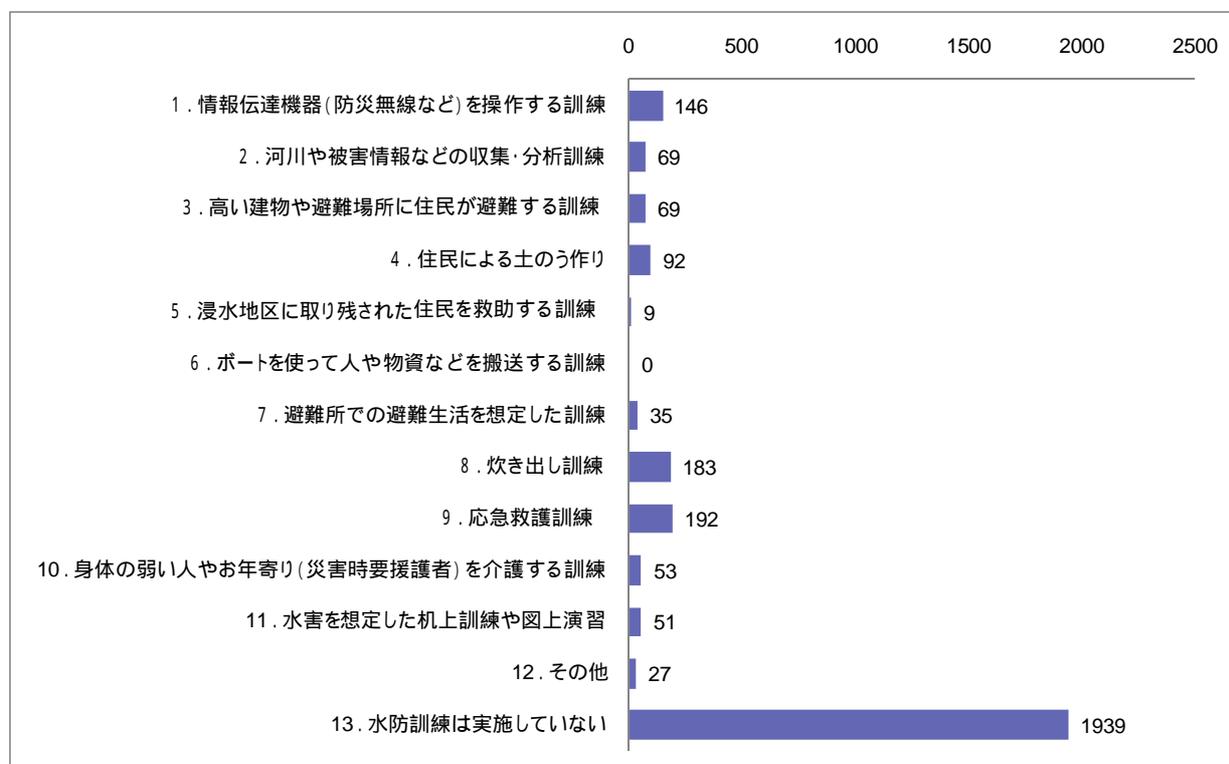
項 目	人数	割合
1. ほとんど全員が何らかの備えをしている	33	1.4%
2. かなりの人が備えをしている	78	3.3%
3. 約半数の人は備えをしている	105	4.4%
4. 何らかの備えをしている人は半数に満たない	500	20.8%
5. 備えをしている人はほとんどいない	911	38.0%
6. わからない	773	32.2%
回答なし	60	
回答数	2405	



問 34 あなたの自治会では、次にあげるような水害に備えるための訓練(水防訓練)のうち、どれを実施していますか。行政主催の訓練への参加や自治会で実施している訓練を、すべて をしてください。

80.7%の自治会で「水防訓練は実施していない」という回答であった。実施している自治会で多いのは「応急救護訓練」、「炊き出し訓練」である。

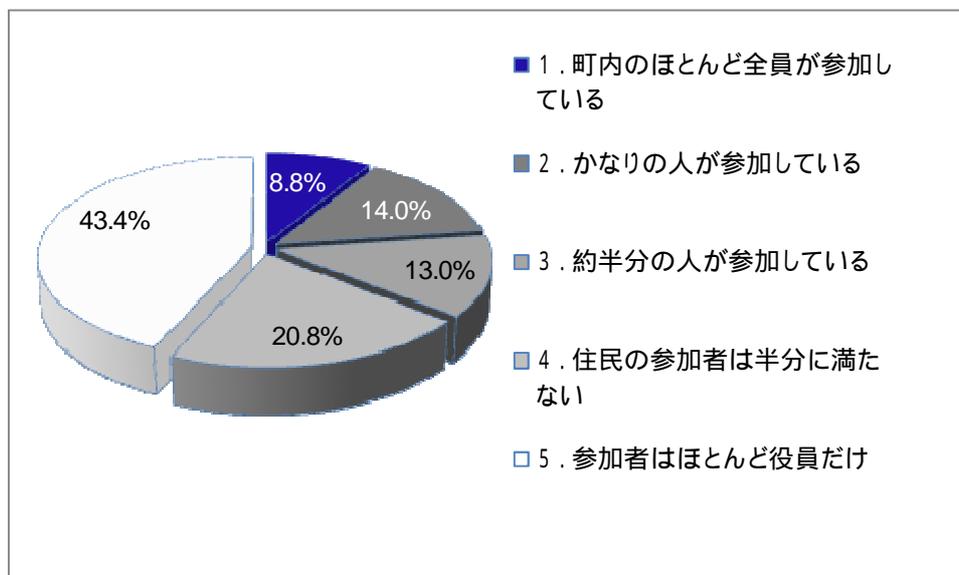
項 目	人数
1. 情報伝達機器(防災無線など)を操作する訓練	146
2. 河川や被害情報などの収集・分析訓練	69
3. 高い建物や避難場所に住民が避難する訓練	69
4. 住民による土のう作り	92
5. 浸水地区に取り残された住民を救助する訓練	9
6. ボートを使って人や物資などを搬送する訓練	0
7. 避難所での避難生活を想定した訓練	35
8. 炊き出し訓練	183
9. 応急救護訓練	192
10. 身体の弱い人やお年寄り(災害時要援護者)を介護する訓練	53
11. 水害を想定した机上訓練や図上演習	51
12. その他	27
13. 水防訓練は実施していない	1939
回答なし	120



問 35 最近行った水害に備えるための訓練(水防訓練)には、地区住民のうち、どれくらいの人に参加しましたか。ひとつ をしてください。

水防訓練を実施している自治体のうち、「参加者はほとんど役員だけ」の自治会が 43.4%と最も多い。住民の半分以上が参加していると回答したのは 35.8%である。

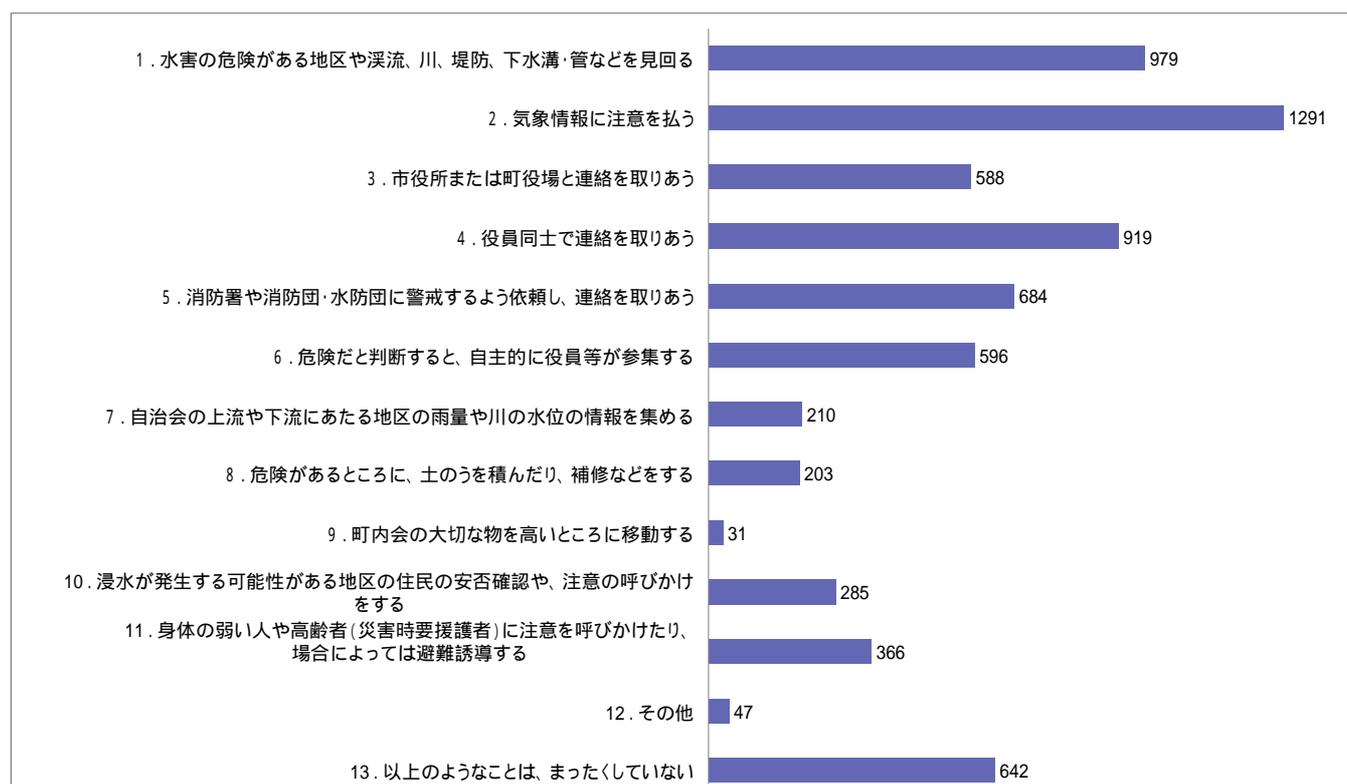
項 目	人数	割合
1. 町内のほとんど全員が参加している	36	8.8%
2. かなりの人が参加している	57	14.0%
3. 約半分の人が参加している	53	13.0%
4. 住民の参加者は半分に満たない	85	20.8%
5. 参加者はほとんど役員だけ	177	43.4%
回答なし	2057	
回答数	408	



問36 長雨が続きたり、雨が強まったりして水害の危険が高まったとき、あなたの自治会ではどのようなことをしますか。これまでの経験から、あてはまるものをいくつでも をしてください。

「気象情報に注意を払う」(52.4%)が最も多く、次いで「水害の危険がある地区や溪流、川、堤防、下水溝・管などを見回る」(39.7%)、「役員同士で連絡を取りあう」(37.3%)の順に多い。

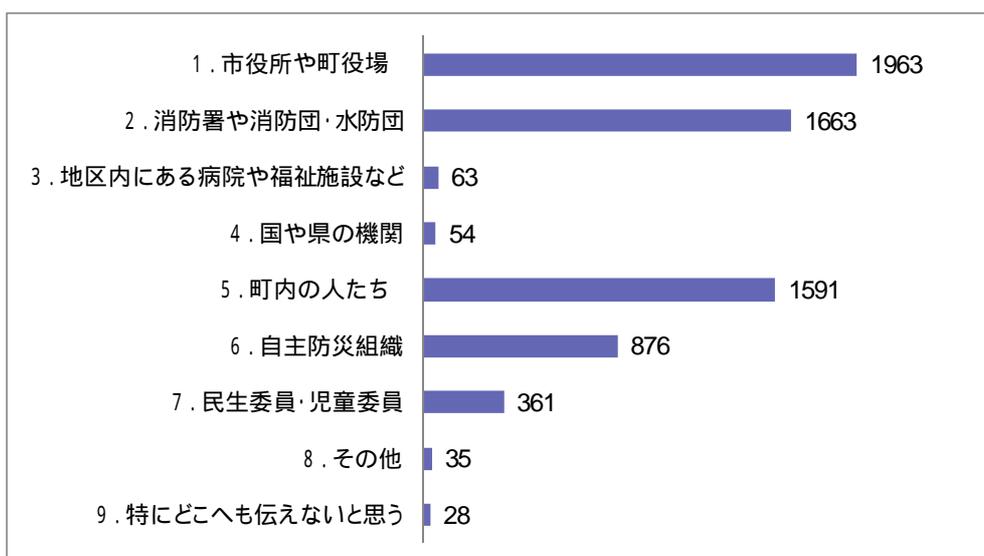
項 目	人数
1. 水害の危険がある地区や溪流、川、堤防、下水溝・管などを見回る	979
2. 気象情報に注意を払う	1291
3. 市役所または町役場と連絡を取りあう	588
4. 役員同士で連絡を取りあう	919
5. 消防署や消防団・水防団に警戒するよう依頼し、連絡を取りあう	684
6. 危険だと判断すると、自主的に役員等が参集する	596
7. 自治会の上流や下流にあたる地区の雨量や川の水位の情報を集める	210
8. 危険があるところに、土のうを積んだり、補修などをする	203
9. 町内会の大切な物を高いところに移動する	31
10. 浸水が発生する可能性がある地区の住民の安否確認や、注意の呼びかけをする	285
11. 身体の弱い人や高齢者(災害時要援護者)に注意を呼びかけたり、場合によっては避難誘導する	366
12. その他	47
13. 以上のようなことは、まったくしていない	642
回答なし	96



問 37 もしも、あなたまたは自治会の役員の方などが、洪水による浸水が発生する可能性が大きくなったと判断したとき、その情報をどこへ伝えますか。あてはまると思われるものをいくつでも をしてください。

最も多かったのは「市役所や町役場」（79.6%）で次いで「消防署や消防団・水防団」（67.5%）が多い。「町内の人たち」に情報を伝達するとの回答は64.5%であった。

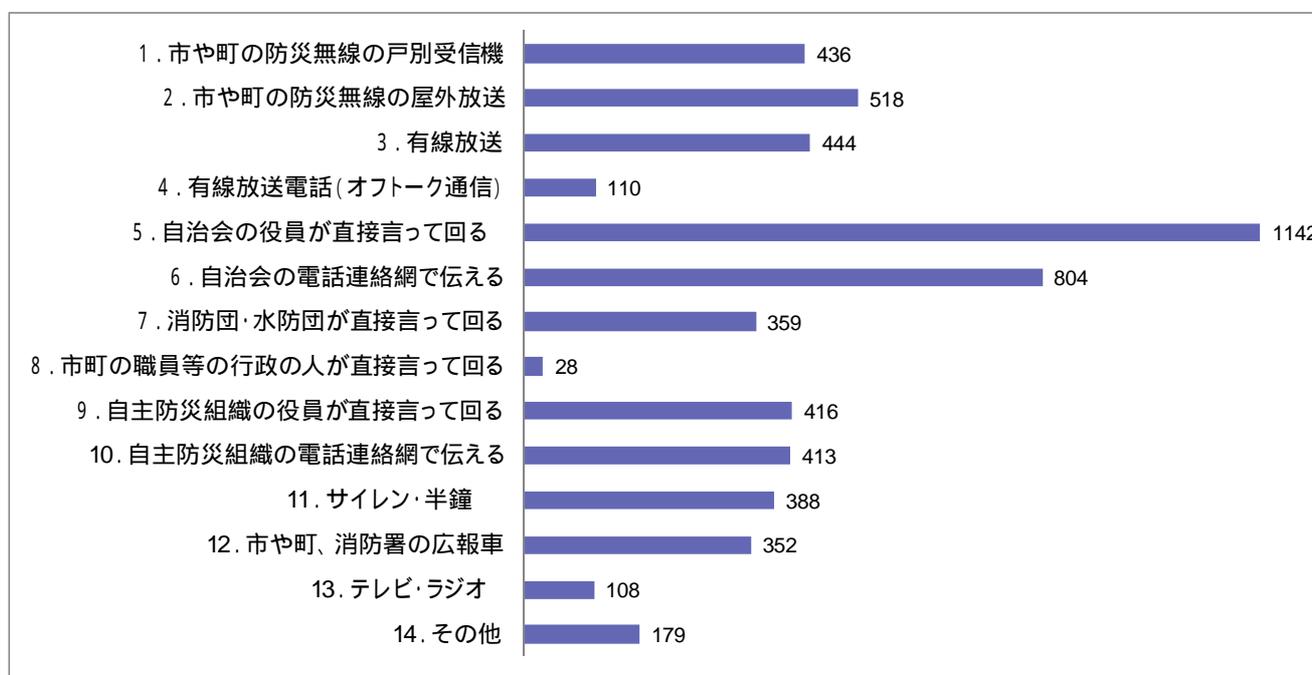
項 目	人数
1.市役所や町役場	1963
2.消防署や消防団・水防団	1663
3.地区内にある病院や福祉施設など	63
4.国や県の機関	54
5.町内の人たち	1591
6.自主防災組織	876
7.民生委員・児童委員	361
8.その他	35
9.特にどこへも伝えないと思う	28
回答なし	70



問 38 あなたの自治会では住民に、緊急に一齐に情報を知らせるための手段として、どのようなものを使うことになっていますか。使うと思われるものをすべてに をしてください。

約半数(46.3%)の自治会で、緊急時の連絡は「自治会の役員が直接言って回る」と回答している。次いで多いのは「自治会の連絡網で伝える」(32.6%)手段である。

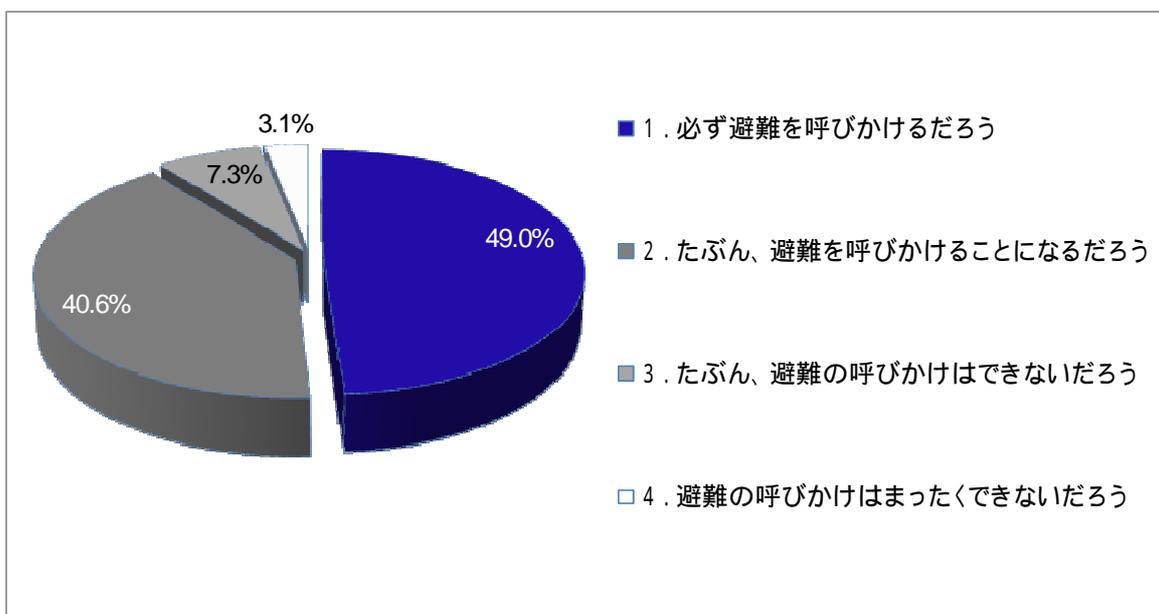
項 目	人数
1.市や町の防災無線の戸別受信機	436
2.市や町の防災無線の屋外放送	518
3.有線放送	444
4.有線放送電話(オフトーク通信)	110
5.自治会の役員が直接言って回る	1142
6.自治会の電話連絡網で伝える	804
7.消防団・水防団が直接言って回る	359
8.市町の職員等の行政の人が直接言って回る	28
9.自主防災組織の役員が直接言って回る	416
10.自主防災組織の電話連絡網で伝える	413
11.サイレン・半鐘	388
12.市や町、消防署の広報車	352
13.テレビ・ラジオ	108
14.その他	179
回答なし	70



問 39 あなたの自治会のある地域で、もしも洪水による浸水が発生する危険が大きくなった場合、自治会あるいは自主防災組織として、自主的に洪水による浸水の危険がある地区の人に避難を呼びかけますか。ひとつ をしてください。

洪水による浸水が発生する危険が大きくなった場合、「必ず避難を呼びかける」「たぶん、避難を呼びかけることになるだろう」と考えている自治会が約9割（89.6%）である。

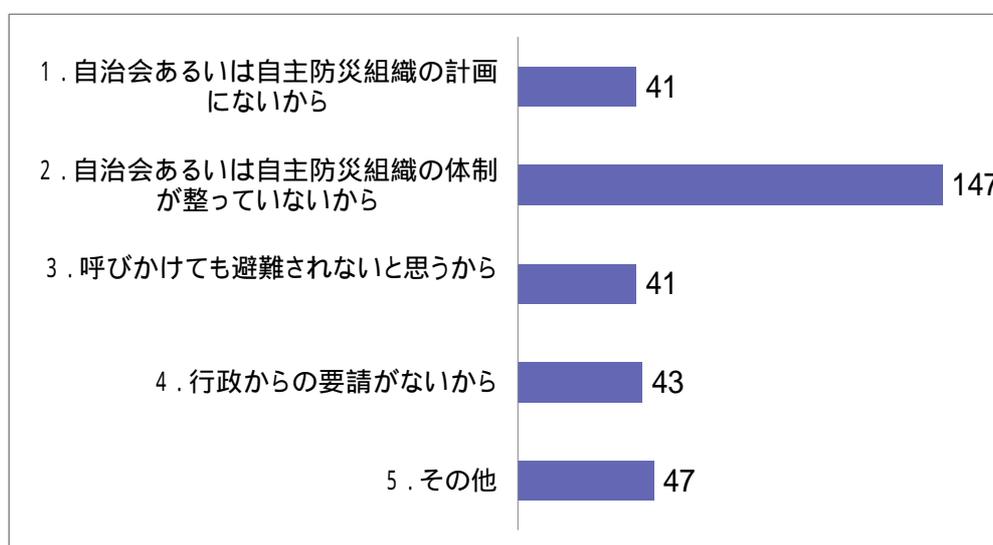
項 目	人数	割合
1. 必ず避難を呼びかけるだろう	1150	49.0%
2. たぶん、避難を呼びかけることになるだろう	951	40.6%
3. たぶん、避難の呼びかけはできないだろう	172	7.3%
4. 避難の呼びかけはまったくできないだろう	72	3.1%
回答なし	120	
回答数	2345	



問40 問39で、「たぶん、避難の呼びかけはできないだろう」又は「避難の呼びかけはまったくできないだろう」とお答えになった方へ、なぜそう考えられたのか、その理由をいくつでも をしてください。

洪水時に避難を呼びかけることができない理由として、「自治会あるいは自主防災組織の体制が整っていないから」と回答した自治体が60.2%で最も多い。

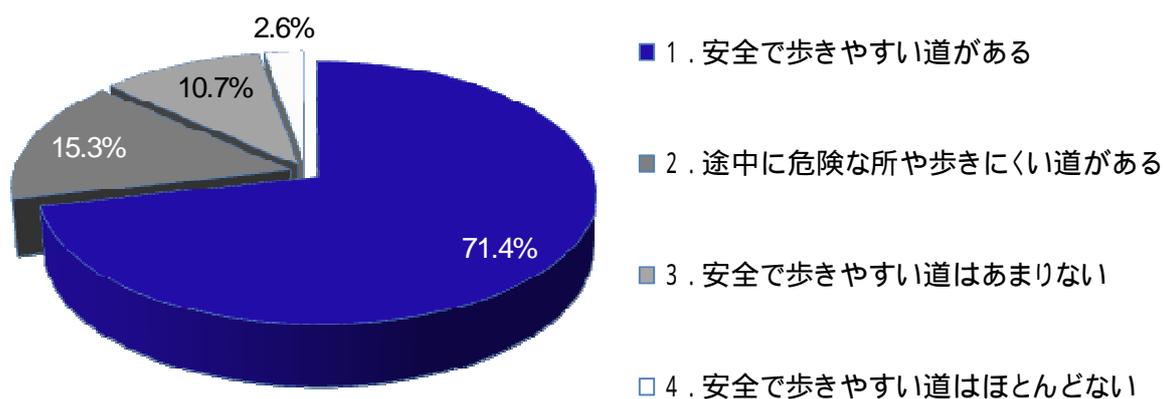
項目	人数
1.自治会あるいは自主防災組織の計画にないから	41
2.自治会あるいは自主防災組織の体制が整っていないから	147
3.呼びかけても避難されないと思うから	41
4.行政からの要請がないから	43
5.その他	47



問 41 水害の危険が高まり避難することになったとき、安全な道を通って、安全な避難場所に行くことはできますか。ひとつ をしてください。

7割以上(71.4%)の自治会で、水害の危険が高まったときに「安全で歩きやすい道がある」と回答している。

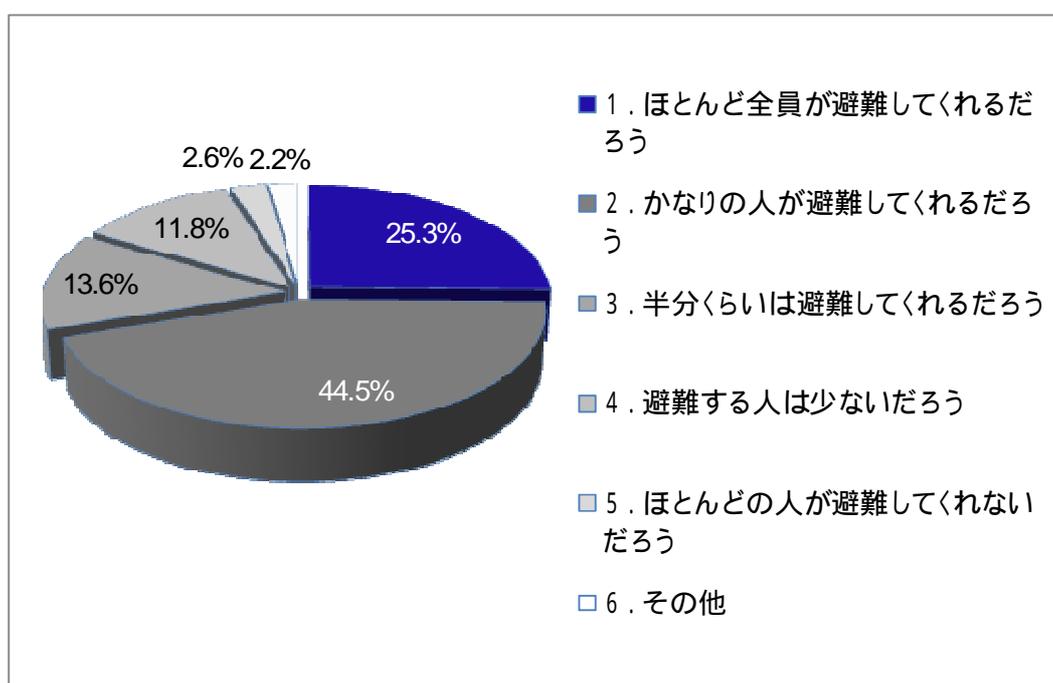
項 目	人数	割合
1.安全で歩きやすい道がある	1609	71.4%
2.途中に危険な所や歩きにくい道がある	345	15.3%
3.安全で歩きやすい道はあまりない	240	10.7%
4.安全で歩きやすい道はほとんどない	59	2.6%
回答なし	212	
回答数	2253	



問 42 自治会、自主防災組織または消防団や水防団が、自主的に洪水による浸水の危険がある地区の人に避難を呼びかけた場合、どのくらいの人が避難に応じてくれると思いますか。ひとつ をしてください。

7割近く(69.8%)の自治会が、洪水による浸水の危険性があるときに「『かなり』もしくは『ほとんど全員』の人が避難してくれるだろう」と回答している。

項 目	人数	割合
1.ほとんど全員が避難してくれるだろう	589	25.3%
2.かなりの人が避難してくれるだろう	1037	44.5%
3.半分くらいは避難してくれるだろう	316	13.6%
4.避難する人は少ないだろう	275	11.8%
5.ほとんどの人が避難してくれないだろう	61	2.6%
6.その他	51	2.2%
回答なし	127	
回答数	2329	



問 43 あなたの自治会のある地域が、万一水害で水浸しになってしまった場合、自治会では、どのような活動をすると思いますか。水害が発生してから3日目くらいまでに活動すると思われることを、いくつかを教えてください。

最も多い回答が「居住者の安否を確認して回る」（86.3%）で、次いで「災害時要援護者の安否の確認や介護」（68.8%）、「行方不明者を捜索」（54.7%）の順に多い。

項目	人数
1. 行方不明者を捜索する	1348
2. 居住者の安否を確認して回る	2127
3. 身体の弱い人や高齢者など(災害時要援護者)の安否の確認や介護をする	1697
4. 浸水した地域に取り残された人々をボートなどで救出する	385
5. 浸水した地域に取り残された人々に食料などを配給する	729
6. 被災した人に避難所で救援活動をする	1252
7. 暖かい食べ物などの炊き出しをする	1303
8. 避難所の運営をする	903
9. がれきを処理したり、浸水地区の掃除や後片づけをする	962
10. 被災した人へのお見舞い金を集める	289
11. その他	41
12. 何もできないと思う	79
回答なし	97

